

平成30年度

帯広の研究活動

研修部長 帯広市立柏小学校

校長 鈴木 義秋

1 はじめに

帯広市校長会は小学校26校、中学校14校で構成している。基本方針や活動の重点に基づいて、全体としての調和を大切にしつつ、小学校長会、中学校長会に分かれて、具体的な活動に取り組んでいる。

調査・研究活動を重視し、小中別に研究委員会を設け、実践的な積み上げを目指し研修に励んでいるところである。また、道小の研究計画を基に研究体制を整え、帯広の子ども一人一人の健やかな成長に責任をもつ職能団体としてその機能を果たしている。



2 研究計画

(1) 基本方針

本年度の帯広市校長会及び帯広市小学校長会の運営方針に基づき、今日的教育課題や当面する学校経営諸課題の解明と新しい時代の要請に応える学校経営の充実・発展に資するために校長としての専門的職能向上を図る研修に努める。

(2) 研究主題

「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育の推進」
～ふるさとの地から世界を見つめ、新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育てる学校経営の推進～

(3) 研究の重点

- ① これからの学校教育の在り方を学校経営の視点から展望し、実践的に究明し、その成果を明らかにする。
- ② 各学校が抱える経営上の諸課題について交流を進め、解決策の具現化に努める。
- ③ 全連小研・道小研との関連を重視し、先を見据えた共同研究体制を構築する。

(4) 研究内容と方法

内外の教育の動向をとらえ、今日的な課題の解決を図るとともに、地域に根ざした教育の在り方を探求しその内容を発信・交流する。四つの研究委員会を中心に毎月の定例校長会議において実践を交流し、研修を深める。小中合同の研究協議会の開催や紀要の発行を進める。

① 職能向上に関する研修

ア 学校経営委員会

- 教育改革に対応した校長のリーダーシップや組織マネジメント等、校長に求められる資質向上のための研修
 - ・ 学校経営ビジョンの策定と実現に関する研究
 - ・ 校内組織の活性化と組織マネジメントの改善に関する研究
- 次代の学校経営を担う人材育成に関する研究

イ 教育課程委員会

- 生きる力の育成を目指す教育課程の編成と改善に関する研究

- 確かな学力の定着・向上を図る教育課程に関する研究
- 道徳教育や健康教育の充実をめざす教育課程に関する研究
- ウ 危機管理委員会
 - 安全安心な環境づくりと安全防災教育推進に関する研究
 - 子どもの健全育成に関する研究
 - いじめや不登校を生まない学校づくりの推進に関する研究
 - 危機管理に強い組織づくりの意図的・計画的な推進に関する研究
 - 不当要求や個人情報保護、情報公開への対応に関する研究

エ 教育課題委員会

- 勤労観、職業観を育むキャリア教育の推進に関する研究
- 一人一人の教育的ニーズ、自立や社会参加の実現への特別支援教育に関する研究
- 持続可能な社会を目指した環境教育の推進に関する研究
- 異校種間の学びの連続性を重視した教育活動の推進に関する研究

② 学校経営基礎研修の開催

ア 目的

採用2年目までの校長と本市へ校長として初めて転入された校長を対象に、帯広市の学校経営の進め方等について学び交流し、職能向上を図る。

イ 概要

- 年間3回実施（7月、10月、12月）
- 講話（先輩校長から学校経営上の課題への対応等について話を聞く）
- 交流（課題について実態をもち寄り、考え方等を交流する）

③ 学校経営研究協議会の開催

ア 目的

校長としての職能向上や学校教育の改善、充実に資するため、今日的課題や学校経営の在り方について研修を深める。

イ 概要

- 平成30年11月22日（木）小中研究委員会の研究成果を発表後、グループ協議
- 協議内容
 - ・ 小学校危機管理委員会
「児童の健全育成と危機管理の推進における校長の在り方」
 - ・ 中学校教育課程委員会
「創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施」
- 講演
 - ・ 講演題 「学校教育に関わる今日的な課題について」
 - ・ 講師 北海道教育庁十勝教育局長 大橋 則之 氏
 - ・ 内容 平成30年度全国学力・学習状況調査について
学校における働き方改革について

④ 研究紀要「教育新潮」の発行（3月予定）

3 おわりに

帯広市小学校長会では、来年度の全連小研の提言発表に向け、全連小、道小との研究の関連性を重視し共同研究を進めている。今年度参加した全連小北海道函館大会から得た情報や成果を、各研究委員会の中で共有し、本市の教育振興に寄与するという目的の達成に生かしていく。今後も校長としての自己研鑽と組織力の向上を目指し、研修に邁進する所存である。